

令和5年10月4日

保護者様

横浜市立豊岡小学校
校長 成田 玲子

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果について

令和5年度の4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校の取組についてご説明します。

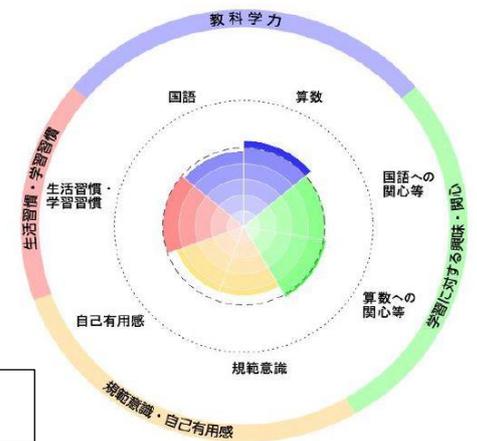
なお、今回の結果により測定できるのは、学力特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査結果にとらわれすぎることなく、児童一人ひとりの力をつけることに引き続き取り組んでまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をいただけるよう、お願いいたします。

教科学習状況調査結果（平均正答率）

平均正答率

	豊岡小	神奈川県（公立）	全国（公立）
国語	65	66	67.2
算数	66	63	62.5

[児童生徒]
児童質問紙（全国基準）



全国の正答率と比較して結果に特徴のある項目・問題

国語

- 知識・技能についての問題は全国平均と同程度か若干上回っている。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」の「文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる」問題では、全国平均を5ポイント上回っている。
- 思考・判断・表現の「話すこと・聞くこと」では、全国平均を8ポイント下回っている。特に「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心をとらえることができるかどうかをみる」問題では、全国平均を11ポイント下回っている。また、「読むこと」では、「目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる」問題では、全国平均を7ポイント下回っている。

算数

- すべての領域において全国平均を上回っている。
- 特に「変化と関係」は、全国平均を5ポイント上回っている。
- 思考・判断・表現の「データの活用」の「示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できるかをみる」問題では、全国平均と比べ、無回答率が6ポイント高い。

(2) 各教科結果の分析

調査結果において、全国の平均正答率と比べ、国語は2ポイント下回り、算数では、3ポイント上回っています。

国語では、特に「話すこと・聞くこと」の「話し手が伝えたいことや自分の聞きたいことを中心をとらえる」ことや「話の内容をとらえ、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる」などの思考・判断・表現の分野で課題があります。日頃から、話の中心をしっかりと考えながら聞けるように指導していきます。

算数では、「一の位が0の二つの2位数について、情報の計算をすることができる」「正方形の意味や性質について理解している」などの知識・技能分野で課題があります。また、全国平均と比べ、無回答率が若干高い傾向にあります。日頃より、一人ひとりの学習状況をしっかりと見取りながら適切に指導し、基礎基本の確実な定着にむけた指導の充実を図っていきます。

(3) 児童質問紙調査結果より

<学習意欲>

- ・国語は若干下回っているものの、算数は全国平均を上回っています。基礎・基本の定着を図り、学習意欲がさらに向上していくように努めます。
- ・「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい」では、あてはまる、どちらかといえばあてはまると答えた児童の合計が、全国平均と比べ6ポイント上回り、「日本やあなたが住んでいる地域について、外国の人にもっと知ってもらいたい」では、全国平均と比べ8ポイント上回っています。今後は、子ども達の興味関心を生かし、楽しみながら意欲的に学び、進んで英語を使いたいと思えるように、さらなる授業改善を図っていきます。

<学習習慣>

- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日どのくらいの時間読書しますか」では、30分以上と答えた児童の合計が42.2%で、全国平均と比べ5ポイント高い結果となりました。さらに、本に親しむことで語彙を豊かにし、学力の基礎となる読解力が高まるように指導していきます。

<生活習慣>

- ・「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」では、している、どちらかといえばしていると答えた児童が76%と、全国平均より4ポイント下まわっています。ここから、放課後の習い事などで就寝時間にばらつきがでてしまう様子がうかがえます。学校では規則正しい生活の指導を続けつつ、保護者の方には懇談会や個人面談などで児童の様子について伝え、生活リズムが整えられるように努めていきます。

<規範意識・自己有用感>

- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」では、あてはまる、どちらかといえばあてはまると答えた児童は、64.2%で全国平均と比べると7ポイント高く、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」では、あてはまると答えた児童が43.9%で、全校平均と比べ10ポイント上回っています。今後も、地域に愛着をもち、進んで地域に貢献しようという思いをもてるように指導を続けます。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」では、あてはまると答えた児童が74.8%で全国平均を7.8%下回っています。「いじめは絶対に許されない」としっかりと理解できるように、今後も、規範意識を養う指導を継続的に行い、児童のいじめ防止への意識を高めていきます。